

現場主導



関係者が一堂に介する前田建設の専門工事会社とBIM連携に取り組み清水建設の現場では、BIMモデルによる事前調整で取り合い部分の詳細な検討を行っているほか、合意と作図方針の早期化にもつながっている。専門工事会社側も手戻り作業がなくなり、3次元モデルデータを事前にもらえたことによる省力化が実現されている。

モデル見な

ゼネコン各社で取り組むBIMモデル合意の現場では、従来のように多くの現場関係者が一堂に顔を突き合わせる調整の場となり、課題の見える化で合意形成が早まる効果ももたらしている。設計施工の一括プロジェクトでは実施設計段階から施工BIMモデルの作成に着手する流れになり、

関係者合意の早期化に効果的なBIMモデル合意の取り組みだが、ゼネコン各社とも現場が自主的に進めているため、セミナーでは「モデル合意の準備に時間がかかる課題もあり、組織的な枠組みで取り組めば、さらに生産性向上の効果も高まる」との声も現場担当者から上がった。

を紹介する。ブースでは、太陽の光エネルギーを有効活用した電気、熱エネルギーからお湯を同時につくり出す「太陽光ハイブリッドシステム」、クリーンエネルギーとして注目されているメタンガスをそのまま大気放散せず、温泉ガスを燃料として安全に有効利用し、発電と給湯を行う「温泉天然ガス利用コージェネレーションシステム」を展示する。

見学会の冒頭、あいさつした青木氏は「建物の長寿命化と述べた。その後、参加者はを指して、耐震改修と劣化の防止を進めている。秋田県で初のリファイニング工事で、RC耐震壁などを確認した。この事例が同県への浸透した。

見学会の冒頭、あいさつした青木氏は「建物の長寿命化と述べた。その後、参加者はを指して、耐震改修と劣化の防止を進めている。秋田県で初のリファイニング工事で、RC耐震壁などを確認した。この事例が同県への浸透した。

見学会の冒頭、あいさつした青木氏は「建物の長寿命化と述べた。その後、参加者はを指して、耐震改修と劣化の防止を進めている。秋田県で初のリファイニング工事で、RC耐震壁などを確認した。この事例が同県への浸透した。

見学会の冒頭、あいさつした青木氏は「建物の長寿命化と述べた。その後、参加者はを指して、耐震改修と劣化の防止を進めている。秋田県で初のリファイニング工事で、RC耐震壁などを確認した。この事例が同県への浸透した。

NEDO 再生エネCO2フリー水素供給 3テーマ実証試験

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は、再生可能エネルギーによるCO2フリー水素の実現に向けたシステム技術開発(実証フェーズ)に3テーマを選定した。2020年度まで実証研究を行い、40年以降の供給実現と再生可能エネルギーの導入拡大を目指す。

選定されたテーマは次のとおり(①委託先②実証研究場所③再生可能エネルギー種別)。
▽再生エネ利用水素システムの事業モデル構築と大規模実証に係る技術開発①東芝、東北電力、岩谷産業の福島県浪江町③太陽光、風力。
▽国内エリアにおける協同制御を用いた再生エネ電力の最大有効活用技術①日立製作所、北海道電力、エネルギー総合工学研究所②北海道稚内市③風力、太陽光。
▽CO2フリーの水素社会構築を目標としたP2Gシステム技術開発①山梨県企業局、東レ、東京電力ホールディングス、東光高岳②甲府市③太陽光。

日比谷総合設備は、札幌市のアクセスサポロで4日開幕する北海道最大級の総合環境展「第20回環境広場」に初出展する。2017年に初出展する。6日までの期間中に、同時開催イベントを含めて約3万人の来場が見込まれる展示会において、CSR(企業の社会的責任)活動の一環として

秋田市のリファイニング工事として設計を手掛ける「秋田フォーラスリファイニング工事」の現場見学会を開いた。施主を始めディベロッパーや銀行関係者約40人が参加。青木茂氏が計画の概要を解説しながら、耐震補強工事の特徴的な箇所を紹介した。

同工事は1974年に建設された百貨店を時代のニーズに合った建物として再生させるとともに、長寿命化を図るため、耐震補強と南側の外壁

面を改修し、用途変更する計画。建物の軽量化を目的に1-4階まで連続した吹き抜けを新設するほか、吹き抜けまわりとエスカレーター脇の鉄骨ブレース新設、外部露出したRC耐震壁の新設などを行う。建物の規模はSRC造地下1階地上8階建て塔屋2層延べ2万0227平方メートル。施工は鉄建建設・シバヤ建設工業JVと小西造型が担当。今秋の竣工予定で、現在の進捗率は43%。

LIXILは、エクステリア商品の新規市場開拓を目指す。ア市場は開拓に成功している有望市場だ。ガーデンルームや人工木デッキ、カーポートなど、過去20年で住宅着工戸数が4割程度減少にもかかわらず好調な伸びを保っている。今後、モノがインターネットでつながる「IoT」を取り入れた見守りセンサー付きカーポートや、スマートフォンに入荷を知らせる宅配ボックス、LED屋外照明器

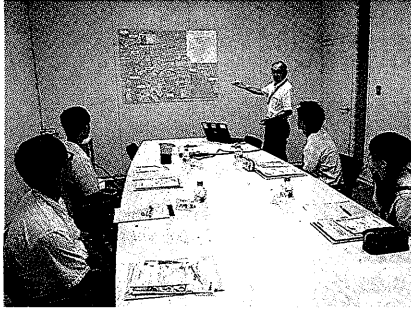
新しい時 トーエネが、名古屋市の名古屋市の7年度支店写真。大野専務、本部長が出席し、大野社長は「中期経営計画のスタートラインとして、新しい時を、成長し、信頼を得て、順守して、また、働

また、働

広島県立尾道北高 企業訪問受け入れ

三井住友建設

三井住友建設は7月27日、広島県立尾道北高等学校の第2学年の生徒4人の企業訪問を受け入れた。将来の進路に希望する企業を訪問し、仕事内容や研究内容を学ぶ総合学習の一環で実施したもので、技術本部技術企画部の中森純一郎部長と技術本部技術研究所の浅井洋副所長が対応した。



生徒からは温暖化や酸性雨など環境変化が建築に与える影響と対策、コストを抑えた建築素材などについての質問が出された。中森部長と浅井副所長は超強度コンクリートやコンクリートはく落を防ぐSAMシート、アラミド繊維シートなど建築素材の実物を交えて紹介、建設業の技術と社会的役割を説明した。

新菱冷熱工業は7月14日、長野市の信州大学で工学部の学生を対象とした講義を開いた。女性の立場から見た職業論をテーマに学生の職業観とキャリアプランの設計を支援するもので、約180人の学生が参加した。講義では学生が将来像をイメージできるように、会社

女性からの立場からは「ライフイベントと仕事」という観点で講義をし、女子学生に対して出産・育児と仕事の両立のために早めにキャリアプランを立てておく方法などをアドバイスした。男子学生には、男性の育児への理解と協力の必要性を説明した。講義後の質疑応答では学生から「会社で働く中で楽しい

こと何か」「支援策があったら女性も辞めることはあるか」などの質問が寄せられ、働くことの楽しさや女性が働き続けることの難しさなどを回答した。

33人を功績表彰 鉄建建設は7月28日、東京都千代田区のホテルメトロポリタンエドモントで優良技能者表彰式を行った。16年度までに認定された優良技能者のうち、同社工事に継続して4カ月間以上従事し、かつリーダーシップを発揮して現場運営に貢献した職長が功績者として表彰された。優良技能者に認定された場合10万円、功績者には20万円の副賞が贈られる。17年度は新たに33人が優良技能者に認定された。

功績表彰受賞者を代表して東和建設の河村康彦氏は「受賞により身が引き締まる。より一層安全・品質の管理に努

め、貢献していきたい」と謝辞を述べた。

落雷リスクなど学ぶ 音羽電機工業が雷保護技術セミナーを開催した。音羽電機工業(吉田修社長)は、東京都千代田区のホテルグランドパレスで第13回雷と雷保護技術セミナーin東京を開催した。今回のテーマは「AIが変える社会と進化する雷防護システム」。モノがインターネットでつながるIoT技術などにより、半導体や周辺機器、

一層の社会的責務を 全国太平洋セメント生コン協会 太平洋セメントのユーザーとして、各団体の状況を身近に感じてもらおうと、役員会の地方開催を予定している。このほか、技術力向上に向けた全国技術委員会を開催するほか、会員各社、若手技術者を対象に基礎知識習得を目指す「コンクリート技術研修・基礎コース」や、会員各社、中堅技術者を対象にした「コンクリート技術研修・診断士受験対策講習」の参加支援などに取り組む。(8・2)

新菱冷熱工業は7月14日、長野市の信州大学で工学部の学生を対象とした講義を開いた。女性の立場から見た職業論をテーマに学生の職業観とキャリアプランの設計を支援するもので、約180人の学生が参加した。講義では学生が将来像をイメージできるように、会社

女性からの立場からは「ライフイベントと仕事」という観点で講義をし、女子学生に対して出産・育児と仕事の両立のために早めにキャリアプランを立てておく方法などをアドバイスした。男子学生には、男性の育児への理解と協力の必要性を説明した。講義後の質疑応答では学生から「会社で働く中で楽しい

こと何か」「支援策があったら女性も辞めることはあるか」などの質問が寄せられ、働くことの楽しさや女性が働き続けることの難しさなどを回答した。

33人を功績表彰 鉄建建設は7月28日、東京都千代田区のホテルメトロポリタンエドモントで優良技能者表彰式を行った。16年度までに認定された優良技能者のうち、同社工事に継続して4カ月間以上従事し、かつリーダーシップを発揮して現場運営に貢献した職長が功績者として表彰された。優良技能者に認定された場合10万円、功績者には20万円の副賞が贈られる。17年度は新たに33人が優良技能者に認定された。

功績表彰受賞者を代表して東和建設の河村康彦氏は「受賞により身が引き締まる。より一層安全・品質の管理に努

め、貢献していきたい」と謝辞を述べた。

落雷リスクなど学ぶ 音羽電機工業が雷保護技術セミナーを開催した。音羽電機工業(吉田修社長)は、東京都千代田区のホテルグランドパレスで第13回雷と雷保護技術セミナーin東京を開催した。今回のテーマは「AIが変える社会と進化する雷防護システム」。モノがインターネットでつながるIoT技術などにより、半導体や周辺機器、

一層の社会的責務を 全国太平洋セメント生コン協会 太平洋セメントのユーザーとして、各団体の状況を身近に感じてもらおうと、役員会の地方開催を予定している。このほか、技術力向上に向けた全国技術委員会を開催するほか、会員各社、若手技術者を対象に基礎知識習得を目指す「コンクリート技術研修・基礎コース」や、会員各社、中堅技術者を対象にした「コンクリート技術研修・診断士受験対策講習」の参加支援などに取り組む。(8・2)

また、働

街並み、住宅と調和

LIXILは、エクステリア商品の新規市場開拓を目指す。ア市場は開拓に成功している有望市場だ。ガーデンルームや人工木デッキ、カーポートなど、過去20年で住宅着工戸数が4割程度減少にもかかわらず好調な伸びを保っている。今後、モノがインターネットでつながる「IoT」を取り入れた見守りセンサー付きカーポートや、スマートフォンに入荷を知らせる宅配ボックス、LED屋外照明器

新しい時 トーエネが、名古屋市の名古屋市の7年度支店写真。大野専務、本部長が出席し、大野社長は「中期経営計画のスタートラインとして、新しい時を、成長し、信頼を得て、順守して、また、働

また、働

また、働

また、働

また、働

また、働

また、働

安全大会 プロとしての自覚を 佐藤型枠工業(東京都足立区、佐藤型枠工業(佐藤教房社長)は、東京都荒川区のホテルラックウッドで安全衛生推進大会を開いた。佐藤社長は「働いてお金を稼いでいる人はその道のプロとして、われわれは型枠職人のプロとして、お客さまに喜んでいただけるために、安全作業だけが事故なく品質の良い躯体を造り上げなければならぬ。一作業つ誰に見られ作業手順での安全大会(8・2)

安全大会 プロとしての自覚を 佐藤型枠工業(東京都足立区、佐藤型枠工業(佐藤教房社長)は、東京都荒川区のホテルラックウッドで安全衛生推進大会を開いた。佐藤社長は「働いてお金を稼いでいる人はその道のプロとして、われわれは型枠職人のプロとして、お客さまに喜んでいただけるために、安全作業だけが事故なく品質の良い躯体を造り上げなければならぬ。一作業つ誰に見られ作業手順での安全大会(8・2)